

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

物価高騰で暮らし・子育て 大変 駅前再開発や公共施設料金値上げ 市民の声を聞く松江市政へ

補正予算や令和5年度各決算 公共施設料金値上げ続々 松江市議会9月定例会はじまる



9月3日松江市議会9月定例会がはじまりました。総額10億4400万円の一般会計補正予算案など63議案が提案されました。

補正予算案の主な内容は、7月に発生した大雨により被害を受けた農林水産施設の復旧工事経費に5億5282万円、子ども医療費助成を高校生まで拡充する準備経費に482万

円、定額減税の調整給付に1億7462万円、市内の高層建築物の増加に伴う景観基準の見直しに関連する事業費1746万円など。補正後の一般会計予算総額は、前年度同期比3・5%増の1099億4700万円。

松江城など拝観料や 利用料が軒並み改正

条例改正では公共施設の利用料を大幅に引き上げる条例改正案が31議案提案されています。松江城・松江歴史館、小泉八雲記念館などの観光施設は1・5倍となり市民割引を導入、市民活動センター、宍道ふるさと森林公園などの利用料金は1・3倍を上限に

どうなる?! 松江駅前 大規模再開発は必要か

8月26日上定昭仁市長は市議会全員協議会において、JR松江駅前の再整備について昨年12月に立ち上げた「松江駅前デザイン会議」の4回の会合でまとめたデザイン案を報告しました。

松江駅前デザイン会議

(田部長右衛門会長)は松江市と松江商工会議所が共同で、中長期的な視点から松江駅前のあるべき姿を検討するとして、㈱日本総合研究所の藻谷浩介氏をアド

バイザーに12名の委員で4回の会合を行いました。この案について9月2日から17日まで意見募集しています。その後この案を含む中心市街地活性化計画について年度末に内閣府の認定を受けていきたいとしています。

上定市長は、松江テルサの建物を撤去し、機能を一畑跡地に民間が建設する複合施設に移し、駅前地下駐車場の廃止も盛り込んだと発表しました。市民への説明資料にはそういった前提の明記はありません。これまでの市議会への説明では、「特定の建物について検討

するものではない」と議員からの質疑に執行部は答弁してきました。

そこで私は「テルサの撤去が突然出てきた。テルサの撤去が前提の案を市民に示すのならば、まずはテルサの現状や評価について資料を示し話し合う必要があるのでは。この案で市民に意見募集するのは拙速」など具体的な中身や資料の必要性を問いました。上定市長は「テルサは築24年で、雨漏りの改修に修繕費として年間4〜5千万円を支出している」等と答弁。テルサのあまりに早い老朽化も疑問です。

松江市議会議員

たちばな ふみ

議員定数等調査特別委員会 議員報酬について市長へ意見



舟木けんじ
市議会議員



たちばなふみ
市議会議員

改定となっています。その他、松江市土地利用制度の見直しに係る税の在り方検討会条例の制定が提案されており、検討委員会を設置し都市計画税などに関する調査検討を行いたいとしています。

一般質問は9月9日から11日まで行われ、日本共産党の舟木健治市議は「住み慣れた地域で暮らし続けられる松江について」質問しました、

- ①防災情報行政の役割、
- ②原発は動かさない
- ③酷暑対策市民生活支援を、
- ④空中給油機市民の安全は、

の4項目を質問しました。次号より詳細を紹介します。

8月23日、30日、9月6日議員報酬を議題に3回特別委員会が開催されました。23日事務局から議員報酬の経過、他議会の改定状況について報告がありました。

6日の特別委員会では2日間の経過と各会派の意見を記載した「最終報告書」を議長に提出することが諮られました。たちばなふみ市議は、「市民の意見聴取も行われておらず特別委員会の最終報告とすることに賛成できない」と意見を述べました。賛成多数で、議長から市長に対し、特別職報酬等審議会の開催を求めるとなりました。